



生活支援コーディネーター通信

令和7年
1月28日

※生活支援コーディネーターは地域のみなさんとともに
地域での支え合いの仕組みづくりに取り組んでいます。



Vol.50

令和6年12月24日に行われた「藤水地区自治会連合会」の定例会に出席させていただき、「生活支援コーディネーター通信No.48」の御確認を通じて、さらに追加の意見を伺いました。



畑作業をしていたら、シルバーカーを押して歩道を歩く高齢者を何人か見かけるね。歩道のデコボコも歩きづらそうだった。移動販売をやってもらったらいいんじゃないかな。



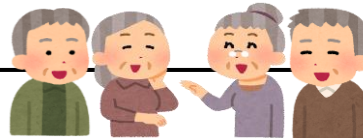
一人暮らしの高齢者の方に、直接移動販売の必要性について尋ねたところ、必要だという声があったよ。



「移動販売あったらいいな」と地域住民の方が言っていたよ。



移動販売は買い物だけでなく、地域住民同士のコミュニティにも役立つのではないかな。
近くに店があっても、近くにあるから、かえって行きにくいという人もいると思うよ。



買い物に困っている方の声は多いね。
冷蔵庫に食品を溜め込み過ぎることで発生する食品ロスも、
移動販売導入により改善される可能性があるね。



岩脇

大谷

試験的に移動販売を導入してみてもいいかな。
モデル地区として進めていければいいと思うよ。

今回の定例会では、地域で暮らす高齢者の生活課題（買い物のしづらさや大変さ）の解決に向けて、さらに具体的に意見交換されました。最終的には、全自治会長様が移動販売開始の合意形成が図られ、次のステージは業者からの説明になりました。

藤水地区さんは今、個別の生活課題を地域全体で共有し、安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を進めていただいております。

令和7年は順調に移動販売が開始されるよう、生活支援コーディネーターは引き続き、地域支援をさせていただきます。よろしくお願いいたします。